

カトリック山手教会月報

やまて



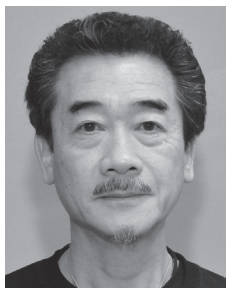
編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第623号 2022年1月16日

人と会えることの恵み

主任司祭 ミカエル鈴木 真

新年あけましておめでとうございます。



長引くコロナ禍の中、2度目の年明けとなりました。教会活動も、何かとリモートだった一昨年から、昨年は宿泊などはできないながらも、少しずつ対面で活動を再開しだした1年でありました。教区の青年活動なども、半日くらいで「集い」として行いましたが、直接、人と会って話をするのがこんなにもうれしく、楽しいものだったんだと今更のように実感しました。もともと、わたしは一人であるのが好きだし、コロナ前は、あまり人に会いたがる方ではなかったんですが、やはり人間とは会って話をしなければ生きていけない生き物なんですね。今まで当たり前にしてきたことが、実は大きな恵みであったと何かと実感します。でも、そんな中で、確かに神さまは働いておられることも強く感じます。主日のミサを動画配信するようになってから、他の教会に行く时必须、そこの信徒の方から「山手のミサ、見えますよ～」と言われて、なんともうれしくなります。

まだまだ先が見通せない中、今年は聖堂の第2期工事も控えています。より一層の皆様のお力とお知恵をいただきたいと思いますが、何よりも、今年も山手教会がキリストの共同体であり続けることが

できますよう、共に歩みたいと願っています。どうぞ、本年もよろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

助任司祭 ダリル・ディニョ



キリストにおいて友人である皆さま、私たちはクリスマスを待ち望みながら、この2021年を通して過ごした旅の日々を思い起こしています。この2年間のパンデミックは、私たちにさまざまな課題をもたらしました。

でも、それは同時に、私たちの共同体が神の民として新しくなれるよう強めてくれたようにも思います。

今年のクリスマスは、今までのように忙しくて慌ただしいクリスマスの準備に追われることはありません。だからこそ、私たちは、このクリスマスの核心（ハート）にであうことができます。それは、素朴と静寂、それでいて強さと愛にあふれる真実です。その栄光の夜、一人の赤ちゃんが、乙女マリアから生まれました。神が私たちに光と救いをもたらすために、イエス様が人間となってくださったのです。このクリスマスにイエス様に願いましょう。「私たちの心に平和を与え、人生のあらゆる瞬間に、神が私たちと共にいて、いつも助けてくださることを心に留めておくことができますように」と。

パンデミックは私たちの生活を大きく変えまし

た。でも、どんなことがあっても、クリスマスをお祝いすることを止めることはできません！

カトリック山手教会から、愛するご家族の皆さまに…

“Merry Christmas and a Happy New Year!”

Fr. Darryl Santos Diño, CM

※2021年12月に日本語で原稿をいただきました。

(編集部)

新年のご挨拶

助任司祭 ルドヴィコ茨木・西村英樹



山手教会の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

司祭叙階からはや幾年月、おかげさまで恵み深い、祝福された1年を過ごすことができました。神に感謝です。コロナ禍にあって、さまざまな出会いと

経験をさせていただきました。これからの司祭生活において宝となると思います。

山手教会信徒の皆さまにとって、よい1年となりますように。

新年のお喜びとともに、祝福をお祈り申し上げます。